

工芸部門 講評

増村 紀一郎

本年も様々な分野から創意工夫が見られる作品が多く寄せられました。

例年と比較してサイズ感が小さくなった気がしますが、技術的にも造形的にも進歩の跡が見られると感じています。

成田満さんの市長賞、平野寿子さんの議長賞、徳井ヤスさんの教育長賞、その他5人の協賛賞を受賞した皆様方、誠におめでとうございます。益々のご精進を期待します。

工芸作品を見るには次の点に留意して鑑賞する方法があります。

自分の尺度、評価基準を持つ、例えば好き嫌い、良い悪いなどのほか、もし手に入れたならばどのような使い方、飾り方があるか、想像する楽しみをお勧めします。